

【日本初・循環型支援】地域通貨の「期限切れ」が子どもたちの笑顔に。

地域通貨「ファン」の失効分200万円を、豊中市の子ども食堂支援へ寄付
～地元弁当店4店と提携、シングルマザー家庭などへ 3,150食分のチケットを配布～

ネットヨタニューリー北大阪株式会社（本社：大阪府豊中市）が中心となり設立した、一般社団法人fanable（ファナブル）は、共感コミュニティ通貨プラットフォーム「eumo」を活用した地域通貨「ファン」を運営しております。

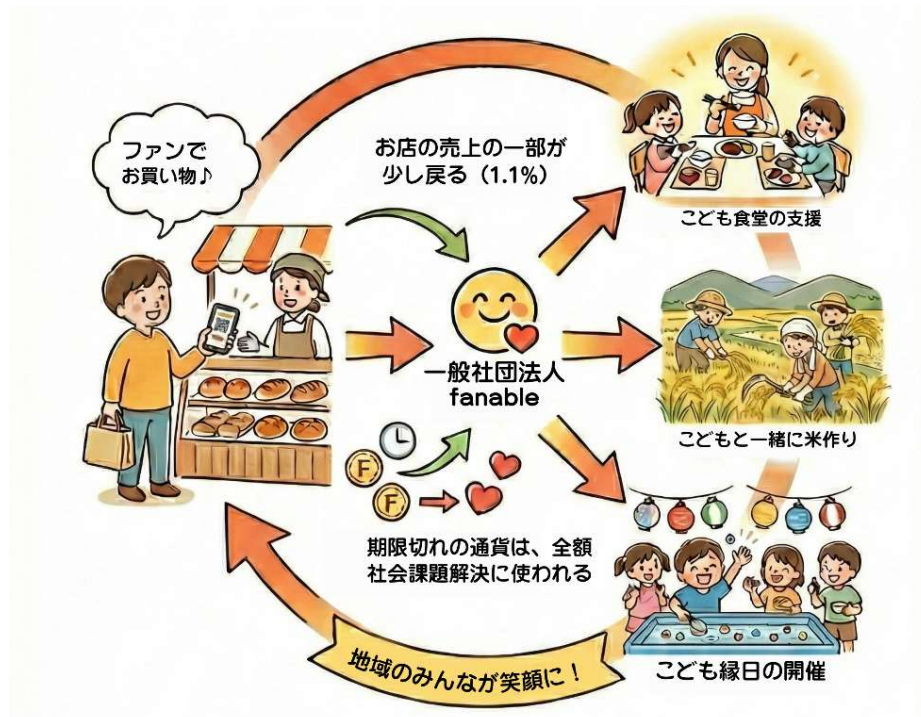
この度、同団体は地域通貨の特性である「利用期限切れによる失効分（リチャージ）」を利用して、豊中市内の弁当店4店舗と提携した「お弁当チケット（9枚綴り）」を作成し、計350世帯（3,150食分）へ配布いたしました。



■背景：お金が回ることで社会が良くなる「循環型」の仕組み

地域通貨「ファン」は、チャージから3ヶ月が経過すると失効し、その残高が、発行体である一般社団法人fanableへ戻る仕組みを採用しています。これは「お金を貯めるのではなく、地域で回す」ことを目的とした設計です。今期、アプリ内に眠ったまま期限を迎えた通貨の総額は約300万円にのぼりました。

fanableではこの資金を「地域の社会課題解決」に充てる方針を掲げており、そのうち200万円を、物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯への食支援として活用することを決定いたしました。



■支援内容：地元飲食店と連携した「お弁当チケット」の配布

単なる金銭的援助に留まらず、地域経済の活性化も図るため、豊中市内の弁当店4店舗とタイアップいたしました。

- 配布対象：豊中市内のシングルマザー家庭や経済的困難を抱える350世帯
- 支援規模：1セット9枚綴りのチケットを350冊（計3,150食分）
- 提携店舗：ごはんやぐう/りあん/ポンゴ101/エースワン



■地域の輪が広がる：店主たちからの温かい支援

今回の企画に賛同いただいた各店舗の店主からは、支援の枠を超えた温かい声が寄せられています。

店主からのコメント（抜粋）

「子どもたちの笑顔のために、精一杯頑張って美味しいお弁当を作ります！」
「お弁当券を使ってくれた子どもたちには、お店からお菓子のプレゼントを用意してお待ちしています」
「本日、チケットで6個のお弁当のご注文を賜りました。早速でうれしくてご報告申し上げましたが、余計な報告が迷惑であれば仰ってください」

このように、地域通貨をきっかけとして、お店と家庭の間に新たな交流と「思いやり」の循環が生まれています。

■一般社団法人fanableについて

ネットヨタニューリー北大阪が中心となって、2024年に、地域社会への貢献をより具現化するために設立。「三方よし」ならぬ「多方よし」の精神で、地域通貨「ファン」の運営を通じ、行政や他企業、市民を繋ぐプラットフォームとして活動しています。



1 買い物するだけで地域応援

ファンはご利用料の一部が自動的に支援団体への寄付になります。普段の買い物が社会課題解決につながるここにしかない体験が得られます。

2 期限が切れたら自動で寄付

アプリに眠ったままのファンは、利用期限が切れると自動的に支援団体への寄付に変わり、社会課題解決を応援する力になります。

3 気づけば社会がよい感じに

ファンに加盟する店舗が増え、利用する人が増えると、循環により社会課題解決が進み、気づけば地域がよくなっていく循環がうまれます。

**有効期限
チャージ日より
3ヶ月**

【企業概要】

ネットヨタニューリー北大阪株式会社

本社所在地：大阪府豊中市稲津町2-4-1

設立年月日：1961年3月 資本金：5千万円 従業員数：150名

HP：<https://www.netznewly.co.jp/>

一般社団法人fanable

所在地：大阪府豊中市稲津町2-4-1（ネットヨタニューリー北大阪内）

HP：<https://fanable.jp/>

【報道機関からの問合せ先】

ネットヨタニューリー北大阪株式会社 広報室

担当：山本一夫（やまもとかずお）

TEL：06-6863-0611 / 080-5776-7207

メールアドレス：kzy0320sky@gmail.com

【取材について】

下記取材が可能です。

迅速に対応しますので、よろしくお願い致します。

- ・寄付先である、とよなかESDネットワークの声
- ・お弁当屋店主の声